



2022-2023年度 深澤 圭司会長

週報 No.2212
発行 2022年 12月 8日

2022-2023年度
会長 深澤 圭司
幹事 門崎 由幸
副会長 長沼 大策
副幹事 坂本 忠光
編集責任者・公共イメージ向上委員会
委員長 坂 佳三

ゲスト

2022 学年度
ロータリー米山記念奨学生
莊 正宇くん

行事予定

- 12月15日 会員卓話
宇多村海児会員
ベトナム絵本寄贈
国際奉仕事業報告
- 12月22日 クリスマス例会
年次総会
次年度役員・理事・
委員長発表
- 12月29日 定款の規定により休会

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。
早いもので会長に就任してからは半年が過ぎようとしています。
12月は旧暦で師走と書きます。師走とは、僧侶が走り回る忙しきからきています。僧侶のような普段は落ち着いている人でもささえもこの月は多忙で走り回るようになる意味から名付けられたという説があります。ではなぜ僧侶は歳末になると忙しくなるのかというと、仏名会（ぶつみょうえ）という法要があるからです。かつて冬は、僧侶を招いて読経などの仏事を行う家が多かったため、お坊さんが東西に忙しく走り回ることとなり「しがはせる」から「しわす」になったと言います。

家庭では大掃除、職場では仕事納めなど、一年を締めくくる大切な時期です。私の会社でも年賀状の作成や、倉庫の整理、そして来年3月には新社屋に移転するので早めの事務処理や不要品の片付けを行っています。

もちろん上尾RCでも記念式典に向けての案内状発送準備や、台南東北RCの式典参加に向けてパスポートの申請、ワクチンパスポートの発行手続き、3回目のワクチン接種等、例年にはない忙しさです。

さて話が変わり、SAAについてお話しします。SAAは例会その他の会合で会場を監督し、秩序正しく和やかな雰囲気での会をスムーズに進める責任者です。SAAの具体的な仕事は、座席は足りているか、食事は行き渡っているか、資料はすべて配られたか、例会終了後の備品の忘れはないか、例会中の私語防止、無断退席者への注意喚起、来客や会員を笑顔で迎え入れるなどがあります。SAAが司会進行を兼務しているクラブもありますが、SAAの本来の役割は会場の見張り（現場監督）です。SAAが現場監督と言われる所以ですが、SAAとはSergeant At Armsの略称で、直訳すれば「武器を携帯した軍曹」となりますが、実際には英国の王室・議会・法廷・社交クラブ等の守衛官という意味の慣用語です。1189年、英国のリチャード1世が、自分の身の警護の任に就かせた護衛隊の官職名に起源があり、当時は武器を携帯していましたが、時代につれて武器は装飾的な組紐のような形式的なものに移り変わっていきました。

Rotary ROTARY CLUB OF AGEO

ロータリークラブ最初のSAAは1906年に役職として定められ、シカゴクラブ定款起草者でもあったポール・ハリス、マックス・ウルフ、チャールズ・ニュートンの3人が担当しました。1908年頃からはクラブ会員が親睦・互恵派と奉仕・拡大派に分かれて例会の旅に激論が交わされるようになり、おそろくそんな刺々しい状況の仲裁役も担っていたことでしょう。日本のSAAはというと、1925年に東京RCが設立、1929年に世界恐慌がはじまり世界経済の雲行きが怪しくなり、日本は国際連盟を脱退し世界から孤立。国際情勢が緊迫している中でこの例会には、不穏な動きをする人物がいないか、特に住友金属・三菱重工業・中島飛行機等の軍事工場で作られる飛行機・戦車・軍艦等の図面や情報を渡したり（スパイ行為）、私語を慎ませるために特別高等警官（特高）が数人で例会会場を常に監視していました。おそろくこの行為が、日本で言われる「SAAは現場監督」と言われる所以ではないかと思えます。標準ロータリークラブ定款によれば、SAAはクラブの会長・幹事・会計・直前会長・会長エレクトと並んで役員としての地位が与えられています。但しSAAが理事会メンバーを兼ねる場合はクラブ細則で新たに定める必要があります。通常、SAAはロータリークラブのことを熟知した会長経験者が選出されるようです。またクラブ細則で定めない限り、SAAはいかなる委員会にも属さない孤立した役職です。クラブ会長が誰であろうとSAAが担う仕事内容は不変です。会長の方針や覚悟、手腕次第で会長を支える側のSAAにしても仕事への思い入れや深み、やり方が違ってくるのは人の常でしょう。そういう意味で、SAAが年次計画を出し、その心意気をクラブ会員に示すことがあってもよいかなと思います。

本日は地区出向者による中間報告です。当クラブでは会員数35名のうち大塚バスターガバナーをはじめとする10名が地区に出向しています。しかも2名は部門委員長を務めています。それぞれの出向先の委員会での活動や事業の取り組みをお聞かせいただき、クラブ会員も情報を共有するためプログラムしました。本日もよろしくお願いたします。

幹事報告

門崎 由幸 幹事

◇地区職業奉仕委員会への卓話依頼の案内が届いています。クラブの大木（崇）委員長と相談しながら、来年3月頃、地区へ卓話依頼を提出したいと思います。

◇本日、莊君にお越しいただいていますが、1月に甲状腺の検査で一度台湾に帰国するそうです。2月にまた日本に戻ってきます。

委員長報告

親睦活動委員会 小田切宏治委員長

12月22日、キャメロットヒルズ アネックスで年次総会・クリスマス例会を開催します。会場への送迎バスをご用意していますのでぜひご利用いただきご出席くださいますようお願いいたします。

ロータリー米山記念奨学金授与

2022学年度 ロータリー米山記念奨学生 莊正宇くん



先週、米山学友会の日帰り旅行に行ってきました。まず神奈川・久里浜から船に乗って千葉・金谷港に行き、鵜山に登り「地獄のぞき」から景色を眺めました。とても壮観でした。美味しいランチを食べた後、東京湾アクアライン上の海ほたるに行きました。印象的だったのは、船と並走して飛ぶ海鳥にエサを与えたことです。素晴らしい一日でした。

さて先ほど幹事さんの報告にあったように来年1月、甲状腺の検査のため台湾に1カ月一時帰国します。私は4月から台湾に葉を持ってきましたが、実は3カ月毎の検査が必要です。また2月に戻ってきます。

最後にニュースによると寒波がきているそうです。皆さん、暖かくしてお過ごしください。

Rotary ROTARY CLUB OF AGEO

例会主題

出向者中間報告会

バスターガバナー 大塚 信郎 諮問委員

私は地区でバスターガバナーとして諮問委員会に所属しています。奉仕部門の担当諮問委員を10年務めて卒業しました。報告3回くらい集まって報告を聞き、その後の懇親会を楽しんでいます。



地区 青少年奉仕部門 大塚崇行部門委員長

今期は2度目の部門委員長を務めています。2年前に社会奉仕部門の部門委員長を務めたので年間スケジュールをだいたい把握し、段取りよく進められています。青少年奉仕部門は4つの委員会があります。樋口君が委員長の青少年交換委員会を除き、3委員会の報告をします。



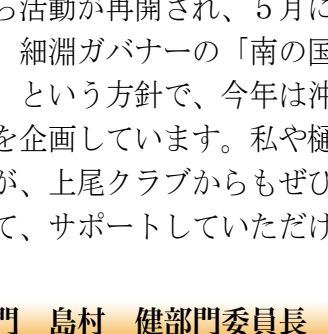
まずローターアクトクラブです。ローターアクトクラブは2年前からRI直轄の団体になり、人頭分担金も発生してRCの補助なく単体で活動しています。4月には全体が集まる年次大会があります。

インターアクト委員会は韓国3750地区との交流です。日韓交流で2月に2名が訪日し、上尾高校の生徒2名が3月に訪韓します。地区全体では30人ずつの交流になり、1月に訪日団受け入れの説明会が行われます。

RYLA委員会は昨年度から活動が再開され、5月に宮古島に行ってきました。細淵ガバナーの「南の国で研修を行うのがいいね」という方針で、今年は沖縄で2泊3日のRYLA研修を企画しています。私や樋口会員も行くと思いますが、上尾クラブからぜひ若い学生が参加者があって、サポートしていただけたらいいと思います。

地区 米山記念奨学部門 島村 健部門委員長

私からは普段あまり話さない採用のことについて報告します。今週土曜日、面接官のオリエンテーションを予定しています。どんな米山記念奨学生を育てたかで米山記念奨学部門の価値が決まるので一連の流れをお話しします。奨学生は4月に入学します



が、来年の奨学生の選考は今年6月からすでに始まっています。奨学生個人からの応募はできず、地区から選定された指定校を通じて推薦を挙げていただき書類と面接で審査を行います。今回莊君は海外応募枠で、日本に滞在していない学生を日本全国十数名が採用され、莊君は日本薬科大学に入学するというので近くの上尾RCが当クラブになりました。今年は38人（+莊君1人）が採用されています。来年は36人が採用予定で、継続生が14人いて、あと22人の選考を行っています。当地区指定校8大学は共栄大学、埼玉大学、聖学院大学、芝浦工業大学、獨協大学、日本工業大学、日本薬科大学、文教大学です。現在55人の応募があり、採用されるのは22人なので厳しい審査になります。来年1月14日に面接試験を行います。近年はコロナ禍で対応が大変ですが、リアルに大宮ソニックシティで面接を行っています。当クラブはここ2年で2人の世話クラブになったため寄付額が1/3になり、通常の3倍寄付をして世話クラブになります。なので来年は世話クラブになるのは厳しそうです。それでも寄付をお願いしたいと思います。



地区 青少年交換委員会 樋口雅之委員長

大塚青少年奉仕部門委員長が、青少年交換委員会の直前委員長なので引継ぎをさせていただきました。コロナ禍なので2020年春から青少年交換は中止となり、前年度から募集を再開し2022年夏に、オリエンテーションをして育てた9名が各国へ羽ばたいていきました。現在海外にいる派遣生からは毎月1回月報が送られてきて、海外留学をたいへん楽しんでいるようです。一人だけ「特に問題ありません」と1行だけで報告してくる子もいます。（笑）



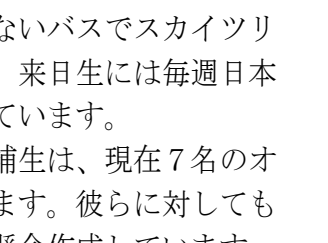
8月、9カ国から9名の留学生が来日して日本で高校生活を送っています。来日学生に対しては月1回オリエンテーションをしていて、毎月課題を与えています。初回は自己紹介を日本語で1分間、英語で1分間スピーチしてもらい、2回目は同様に家族について、3回目（12/11）は来日前に思い描いたことと実際に来日してみて違ったことをスピーチし

てもらおう予定になっています。そのほか日本での常識やマナーなどをレクチャーしています。9月、都内を一日かけてまわるシティツアーに来日学生を連れていき、二階建ての屋根がないバスでスカイツリーや浅草などを観光しました。来日生には毎週日本語教室をマンツーマンで行っています。

来年海外へ留学する派遣候補生は、現在7名のオリエンテーションの書類を一生懸命作成しています。このプログラムに欠かせないのはROTEX（ローテックス。青少年交換学友）です。海外留学の先輩たちが、派遣生や来日生にアドバイスを送ってくれています。

地区 米山記念奨学学友選考委員会 宇多村海児委員長

先ほど島村部門委員長がお話ししたとおり、寄付をお願いしたいと思います。寄付の期間が変わり、今まで2年間だったものが2.5年になりました。深澤年度の7月から半年分が繰り入れられることになりましたので米山記念奨学部門への寄付をご検討されている方はぜひ12月中にお願いできればと思います。



私は米山記念奨学部門に出向して5カ月、各イベント・事業に参加することでだんだん米山記念奨学についてわかってきました。敢えて一言でいうとたいへん楽しい部門・委員会だと思います。異国の地で活躍する奨学生のパワーをひしひし感じます。なかなかそういった機会は少ない中で活動できた

というのは得難い経験だったと思います。大学・大学院を卒業したら、多くの奨学生は日本に残って学究の道に入ったり、一般企業に就職しようとしてくれるので、架け橋の下地づくりは派手なことではありませんが、こういった活動の積み重ねなんだと思います。

今日配られたガバナー月信の18ページに「再会in関東」という米山学友による世界大会が来年8月に予定され、そのチャリティー奉仕リレーについて掲載されています。これに先立ち、10月に岩槻駅前「貧困に苦しむ日本の子どものための教育支援」という募金活動が展開されました。岩槻で行ったのが4回目、次の活動は第5グループになります。上尾でクリーンアップウォーキングを開催する予定ですので、その際はぜひ皆さまのご参加をお願いいたします。

地区 補助金・VTT委員会 小田切宏治委員長

昨年度からロータリー財団部門のVTT委員会に出向しています。VTTとは職業訓練チームでの活動が主になっています。VTTは1週間～1カ月という長い期間でチームを送りこみ負荷がかかるので、なかなか申請数が少なく、その中で上尾クラブも手を挙げています。詳細はまた改めてご報告したいと思います。



スマイル 地区出向者の皆さん、中間報告いただき、ありがとうございました！

深澤会長／門崎幹事／長沼副会長／坂本副幹事／大塚信郎会員／村岡会員／尾花会員／大塚崇行会員／島村会員／齋藤博重会員／樋口会員／宇多村会員／齋藤修弘会員／小田切会員／関口良康会員

出席率	
会員数	35
出席免除	7
出席対象者	29
出席者数	15
	51.72%

